

第 10 回 平成 28 年熊本地震復旧・復興本部会議 次第

令和 5 年 4 月 13 日（木） 13：30～

於：本館 5 階 知事応接室

1 開 会

2 黙 禱

3 本部長（知事）挨拶

4 熊本地震からの創造的復興の状況報告（各部局より）

5 意見交換

6 閉 会

※会議終了後、知事取材対応

熊本地震からの創造的復興の状況について
～誰一人取り残さないくまもとづくり～

令和5年(2023年)4月

資料1

→ 既に完了したもの
→ 今後完了予定のもの

項目名 [担当部]	蒲島県政3期目				蒲島県政4期目										
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度							
① 健康福祉部 土木部 「すまい」の再建		H29.5 【ピーク時】 20,225世帯 47,800人	すまいの再建6つの支援策、 個別・重点的な対応、見守り体制の強化		R2.3末 1,296世帯 3,122人	R3.3末 150世帯 418人	R4.3末 37世帯 95人	R5.3末 5世帯 10人	2027年度 完了						
		H28.11 応急仮設 住宅 (4,303戸)			R2.3末 災害公営 住宅 (1,715戸) 整備完了	益城町の土地区画整理事業(2027年度事業完了)など 公共工事に関する世帯の再建									
		完了			.ピーク時から 9割を超える方が再 建を実現 .全ての世帯で再建		.R5.3.31 災害救助法による 応急仮設住宅の供 与終了 .県・益城町の独自								
② 環境生活部 災害廃棄物の処理 完了			公費解体	H30.12 災害廃棄物 処理完了											
		完了	災害廃棄物 処理、 公費解体	完了	二次仮置場の廃棄物 処理プラントが岡山県										
重点10項目 ③ 土木部 企画振興部 農林水産部 阿蘇への アクセス ルート (道路、鉄道) の回復	道路	完了	無人施工			R2.10.3 開通									
		完了	無人施工			R2.10.3 開通									
		完了	橋梁工事着手			R3.3.7 開通									
	鉄道	完了	暫定開通		R1.9.14 開通										
		完了	JR 豊肥本線	県砂防・治山工事の実施 【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、 JR復旧工事(肥後大津駅～立野駅間の先行的な復旧工事)		R2.8.8 運行再開									
		完了	南阿蘇鉄道	再生協議会設立、国の支援スキーム決定、復旧工事(立野駅～中松駅間)			R4.4.1 (一社)南阿蘇鉄道 管理機構 設立	R5.4.1 上下分離 開始	2023年 7月15日 全線運行再開						
④ 教育庁 土木部 熊本城の復旧		完了	天守閣等 重要文化財等	熊本城復旧基本方針の策定(市)	R1.10.5 特別公開① (大天守外観)	R2.6.1 特別公開② (特別見学 通路)	R3.6.28 特別公開③ (天守閣 内部公開)	熊本城 復旧 基本計画 の改定(熊 本市)	R5.12 重要文化財 監物櫓復旧完了	2052 年度					
		完了	熊本城復旧 基本計画 の策定 (市)	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援		R3.1末 重要文化財 長堀復旧完了									
		完了	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援												
⑤ 土木部 益城町の 復興まちづくり	熊本高森線 4車線化	H29.2.3 都市計画 決定	H29.3.10 事業認可	H30.4.1 益城復興 事務所 開所	H31.1～ モデル 地区 先行整備	用地買収促進 歩道部整備	R2.3末 モデル 地区 完成	用地買収促進 車道部整備着手	R4.3末 用地買収90% 工事促進	R4.5.28 益城町 惣領に ぎわい 拠点 オープン	R5.3末 用地買収96% 工事促進	R5.3.28 起点から 800m 供用開始	用地買収 100% 工事促進	R6.3末 惣領まで 4車線化 供用開始	2025 年度 事業完了
	益城中央被災市街地復興土地区画整理事業		H30.3.8 都市計画 決定	H30.10.5 事業計画 決定	R1.6末 仮換地 指定	R1.11～ 工事 着工	R2.6～ 宅地 引渡し	R4.3末 仮換地指定 69% 造成工事 宅地引渡し	R4.4.1 益城町 復興 まちづくり センター	R5.3末 仮換地指定 81% 造成工事 宅地引渡し	R5.3.28 益城町 新庁舎 完成	仮換地指定 100% 造成工事 宅地引渡し	R6.3末 官園地区 引渡し 概ね完了	2027 年度 事業完了	

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名 [担当部]		蒲島県政3期目				蒲島県政4期目									
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度						
⑥ 商工労働部	被災企業の事業再建	グループ補助金による施設・設備の復旧				R2.3末 交付決定率: 99.7% 事業完了率: 98.9%	R3.3末 交付決定済: 約99.8% 事業完了率: 約99.7%	R4.3末 交付決定済: 約99.8% 事業完了率: 約99.8%	R5.3末 交付決定済: 約99.9% 事業完了率: 約99.9%	グループ補助金と 同スキームの県単独事業 による支援(残り7件)					
		制度融資による資金繰り支援 等													
⑦ 農林水産部	被災農家の営農再開 完了	大豆転作等で 営農継続支援				営農施設・農地の復旧				R2.3末 営農 再開率 99.8%	R3.3末 営農 再開率 100%				
		農家等が自ら行う 応急工事・簡易な 復旧工事支援				農地の大区画化による創造的復興 (秋津、阿蘇谷、乙ヶ瀬地区)									
⑧ 企画振興部	大空港構想 NextStageの実行	新ターミナルビル の整備等 完了	「大空港構想 NextStage」策定 コンセッション方式 導入表明				H31.3 優先 交渉権者 決定	R1.7~ 運営権者 による ビル事業 開始	R2.4~ 運営権 者による 全事業 開始	R2.4.7 国内線 別棟 ターミ ナルビル 供用開始	R3.1 新ター ミナル ビル 着工	R5.3.23 新ターミ ナルビル オープン			
	空港 アクセス 鉄道整備		交通システムの 比較検討、 鉄道整備の概 略調査				鉄道整備に関する 基本的方向性を JR九州が同意		鉄道整備に関する詳細調査、 国へ財政支援等要望		R2.12~ 空港 アクセス 検討 委員会 開催	鉄道整備に関する詳細調査、 国へ財政支援等要望	三里木ルート に加え、原水 ルート、肥後 大津ルート の追加調査	R4.12 肥後大 津ルート に整備 方針決定	環境アセスメント、鉄道概略設計等 の調査
⑨ 土木部 観光戦略部	八代港のクルーズ 拠点整備 完了	H29.1 「官民連 携による 国際 クルーズ 拠点」を 形成する 港湾」に 選定	H29.7 「国際旅客船拠 点形成港湾」に 指定	H30.2 八代港ク ルーズ 拠点 形成 協定の 締結 (国・県・ RCL)	(国) クルーズ船 専用岸壁 (県) 駐車エリア、 屋根付き通路等 (RCL) 旅客ターミナル、 おもてなしゾーン	H30.12 三者で 基本 計画 発表	R2.3 くまモ ンポ ート 八代 完成	R2.10.31 ~ プレ オープン (県民向 け公園と して開放)	R3.10.23 ~ フル オープン (土日の み)	R4.4.1~ フル オープン (平日含)					
⑩ 観光戦略部	国際スポーツ大会 の成功 完了	2019女子世 界ハンド ボール 大会 完了	H30.11.30~ 12.9 アジア選手権 大会				R1.11.30~ 12.15 本大会								
		ラグビー ワールド カップ 2019 完了	R1.9.20~11.2 本大会 (10/6、13熊本 会場)												
⑪ 知事公室 観光戦略部	熊本地震震災 ミュージアム	中核拠点の 整備	R1.9 震災 ミュージアム 基本計画策定				R2.8~ 震災遺構(旧東海 大学の校舎・断 層)の一般公開		旧東海大学 体験・展示施設の整備		防災センター(1階) 展示スペースの整備		2023年度 ・旧東海大学 体験・展示施設完成 (R5.7月オープン) ・防災センター 展示スペース完成		
	後世への継承	ONE PIECE 熊本復興 プロジェクト		ルフィ像 (県庁)	サンジ像(益城町) ウソップ像(阿蘇市)	チョッパー像(熊本市) ブルック像(御船町) フランキー像(高森町)	ナミ像(西原村) ロビン像(南阿蘇村) ゾロ像(大津町)	ジンベエ像 (宇土市)	南鉄全線再開 (R5夏にあわせたコラボ事業)		熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ				

熊本地震からの創造的復興について

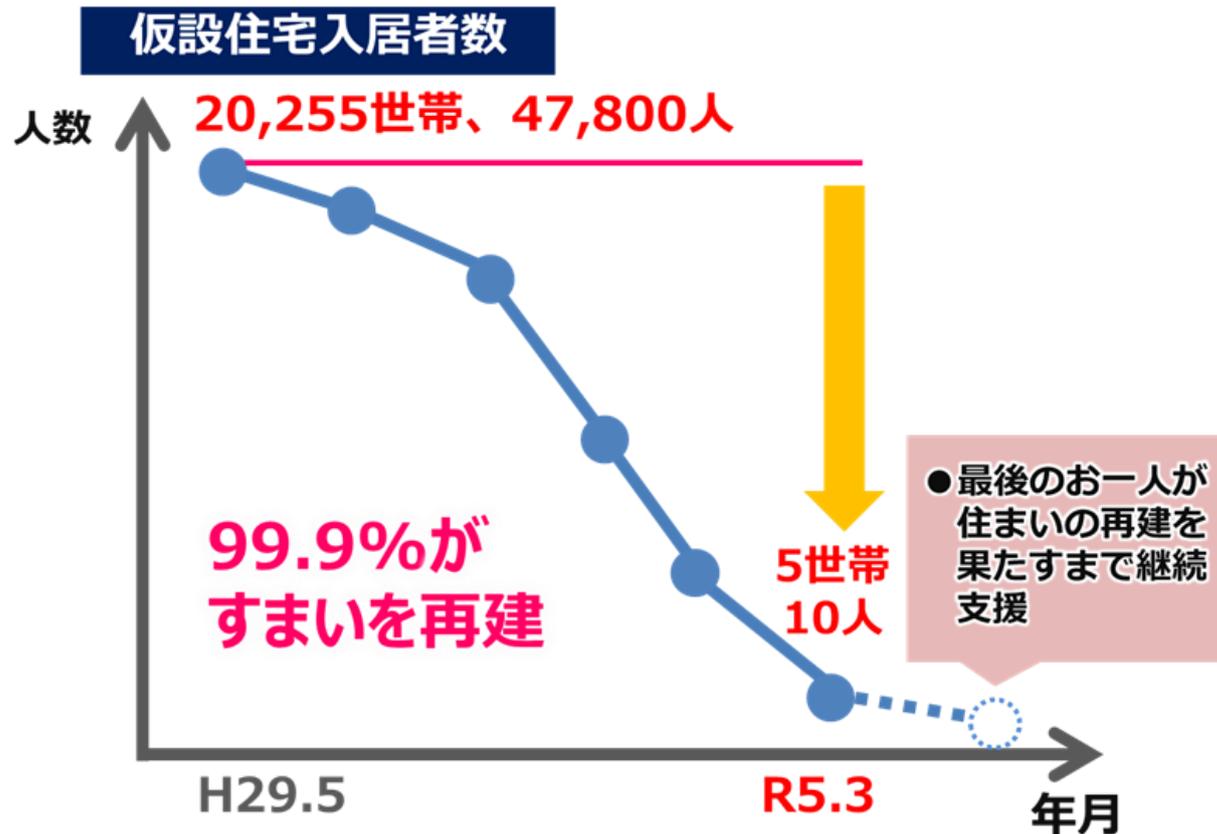
令和 5 年 4 月
熊 本 県

1. 「すまい」の再建
2. 災害廃棄物の処理
3. 阿蘇へのアクセスルートの回復
4. 熊本城の復旧
5. 益城町の復興まちづくり
6. 被災企業の事業再建
7. 被災農家の営農再開
8. 大空港構想NextStageの実行
9. 八代港のクルーズ拠点整備
10. 国際スポーツ大会の成功

1. 「すまい」の再建

令和5年3月末、災害救助法による応急仮設住宅の供与終了

- ・ピーク時（平成29年5月末）、20,255世帯、47,800人が仮設住宅に入居
- ・益城町の土地区画整理事業の影響により自宅再建ができない方々（5世帯、10人）には、県・益城町の独自支援により、仮設住宅よりも快適な住環境を提供
- ・今後も益城町と連携し、最後のお一人が住まいの再建を果たすまで支援を継続



災害救助法から県・町の独自支援



仮設住宅から災害公営住宅へ無償入居

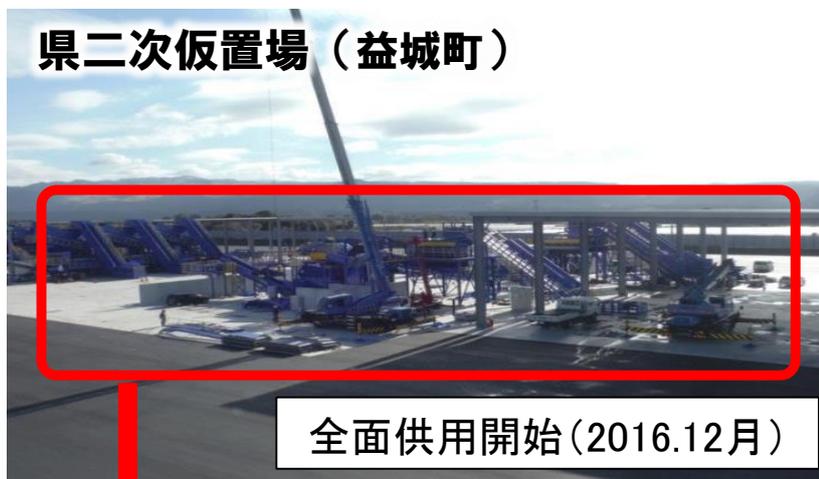


2. 災害廃棄物の処理

◆2018年12月末に全ての市町村で公費解体と災害廃棄物の処理が完了。

- ①公費解体済数: 35, 675棟
- ②災害廃棄物処理量: 約311万トン 再生利用率: 78. 2%〔目標の70%以上を達成〕

地震直後(2016年)



処理完了後



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～道路～

国道57号／国道325号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後(2016年)



2020年10月3日 開通

2021年3月7日開通

現在(2022年)



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～鉄道～

JR豊肥本線



◀ JR豊肥本線
沿線斜面崩壊等により
肥後大津駅～阿蘇駅間が
不通に

南阿蘇鉄道▶

トンネルや橋梁に甚大な被害
が発生し、立野駅～中松駅
間で運休中

南阿蘇鉄道



第一白川橋梁架橋の様子

2022年3月



2023年2月



地震直後
2016年

現在
2023年



◀ JR豊肥本線
2019年度末 国・県工事概成
2020年8月8日
全線運行再開

南阿蘇鉄道▶

2022年4月 (一社)南阿蘇鉄道管理機構設立
→ 2023年4月から上下分離方式に転換

2022年度 復旧工事完了

→ 2023年7月15日に全線運行再開、再開と同時のJR豊肥本線乗入れ開始予定

4. 熊本城の復旧

地震直後 (2016年)



2016年4月22日 頼当御門から天守閣方面



2016年4月22日 飯田丸五階櫓被災状況

現在 (2023年)



2021年6月28日 天守閣内部公開開始



2023年3月31日 公開中の特別見学通路

5. 益城町の復興まちづくり

県道熊本高森線4車線化(約3.8km)

2025年度事業完了を目標

地震直後(2016年)

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動等に大きな支障が発生。

被災状況



被災状況



現在(2023年)

【進捗状況】合計L=3.8km

- ・歩道着手：約4.1km(上下線合計)
(うち約3.2kmが完成)
- ・車道着手：約1.4km
(うち約0.8kmが完成)

現在の状況



現在の状況(惣領付近)



- ・令和5年3月28日に熊本市側から800m区間を供用開始。
- ・令和5年度末までに惣領交差点迄の約1.6kmを供用開始予定。

広崎地区供用開始



上空からの写真(広崎地区)



5. 益城町の復興まちづくり

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業（約28.3ha）

2027年度事業完了を目標

地震直後（2016年）

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生。

被災状況（寺迫地区）



被災状況（宮園地区）



現在（2023年）

【進捗状況】全467画地

- ・仮換地指定：約8割（376画地）
- ・引渡済画地：約3割（145画地）

すまい再建状況（寺迫地区）



すまい再建状況（宮園地区）



- ・令和5年3月に新庁舎が完成。
- ・令和5年度末までに宮園地区の宅地引渡しを概ね完了予定。

益城町新庁舎



整備状況（宮園地区）



6. 被災企業の事業再建

グループ補助金による復旧支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援（2023年3月末現在）

506グループ認定
構成者数

9,452 件

※補助金申請を要しないテナント等が含まれる

補助金申請件数
(予定含む)

4,705 件

補助金の交付決定

4,698 件

交付決定済 99.9%

復旧完了

4,698 件

復旧完了済 99.9%

地震直後（2016年）

～事業者復旧の一例～



現在（2023年）



7. 被災農家の営農再開

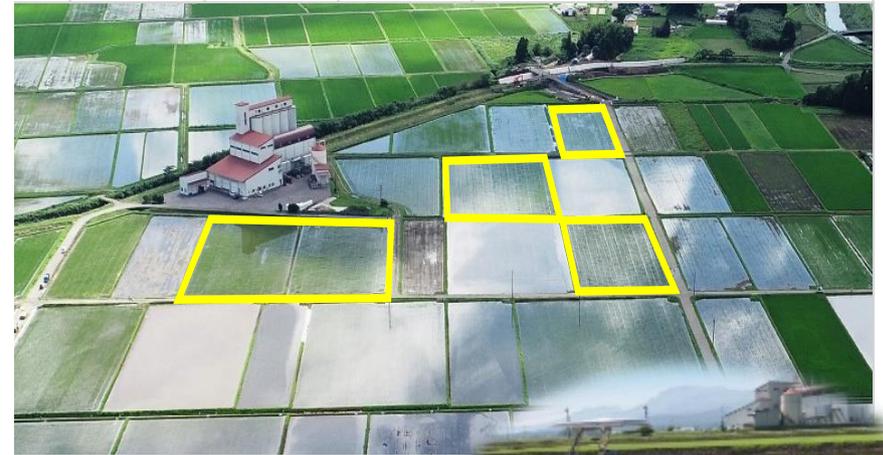
地震直後 (2016年)

営農再開

畜舎の復旧
(菊池市)



農地の大区画化による
創造的復興(阿蘇市)

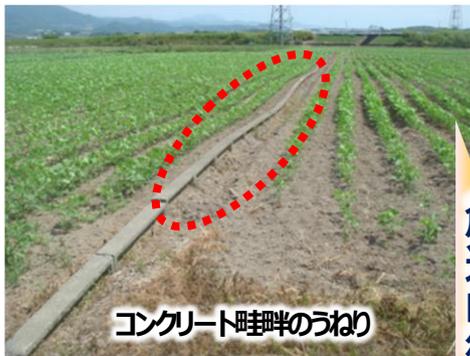


7. 被災農家の営農再開

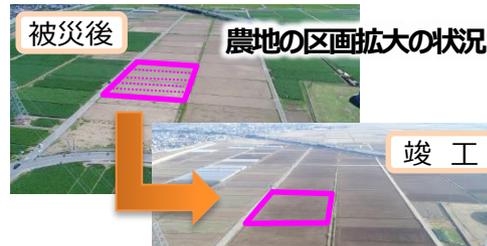
取組みの概要

- 農地や営農施設の復旧事業により営農再開を目指す農家については、**令和2年度末までに全てが営農再開。**
- **秋津地区（熊本市、益城町）**では、復旧と併せた**農地の区画拡大や農地集積を一体的に実施する**県の「**創造的復興**」の取組みが完了し、令和4年産から被災前と同様の営農が可能となり、**10月には、竣工記念式典が開催。**
- 熊本地震の農地等災害復旧事業については、**大切畑ダム（西原村）**以外は全て完了し、**大切畑ダムについても熊本地震からの復旧の「総仕上げ」として、令和7年度の完成**に向けて最後まで着実に工事を実施。
- 今後とも、町村と密に連携し、生産者の意向に沿えるよう最善を尽くして参ります。

秋津地区（熊本市、益城町）の創造的復興の取組み



創造的復興の取組み



大区画化 被災前の5% ⇒ **81%**
集積率 被災前の22% ⇒ **53%**



災害からの復旧に加え、水稻、大豆、麦の輪作栽培（ブロックローテーション）や地元小学校での食育等の取組みが評価され、**地元の農事組合法人が令和4年 熊本県農業コンクール 地域農力部門「優良賞」を受賞**

大切畑ダム（西原村）の取組み



ダム本体工事実施中



令和 **7** 年度工事完了
(見込み)

8. 大空港構想NextStageの実行

コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興

地震直後からの取組み（～2022年）



2016.12
コンセッション方式
による国内線・国際線
ターミナルビルの一體的
整備・耐震化を表明

- 2019.3 優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
- 2019.4 空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
- 2020.4.1～ 熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
- 2020.4.7～ 国内線別棟ビル供用開始
- 2021.1.15～ 新旅客ターミナルビル着工



2023年3月23日 国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル供用開始



- 2051年度目標値
- ◆ 国際線**17**路線
 - ◆ 旅客数**622**万人
(うち国際線**175**万人)
 - ◆ SKYTRAX**5**スターを取得



8. 大空港構想NextStageの実行

空港アクセス鉄道の実現に向けた取り組み

「速達性」の確保

所要時間が「大幅に短縮」

「定時性」の確保

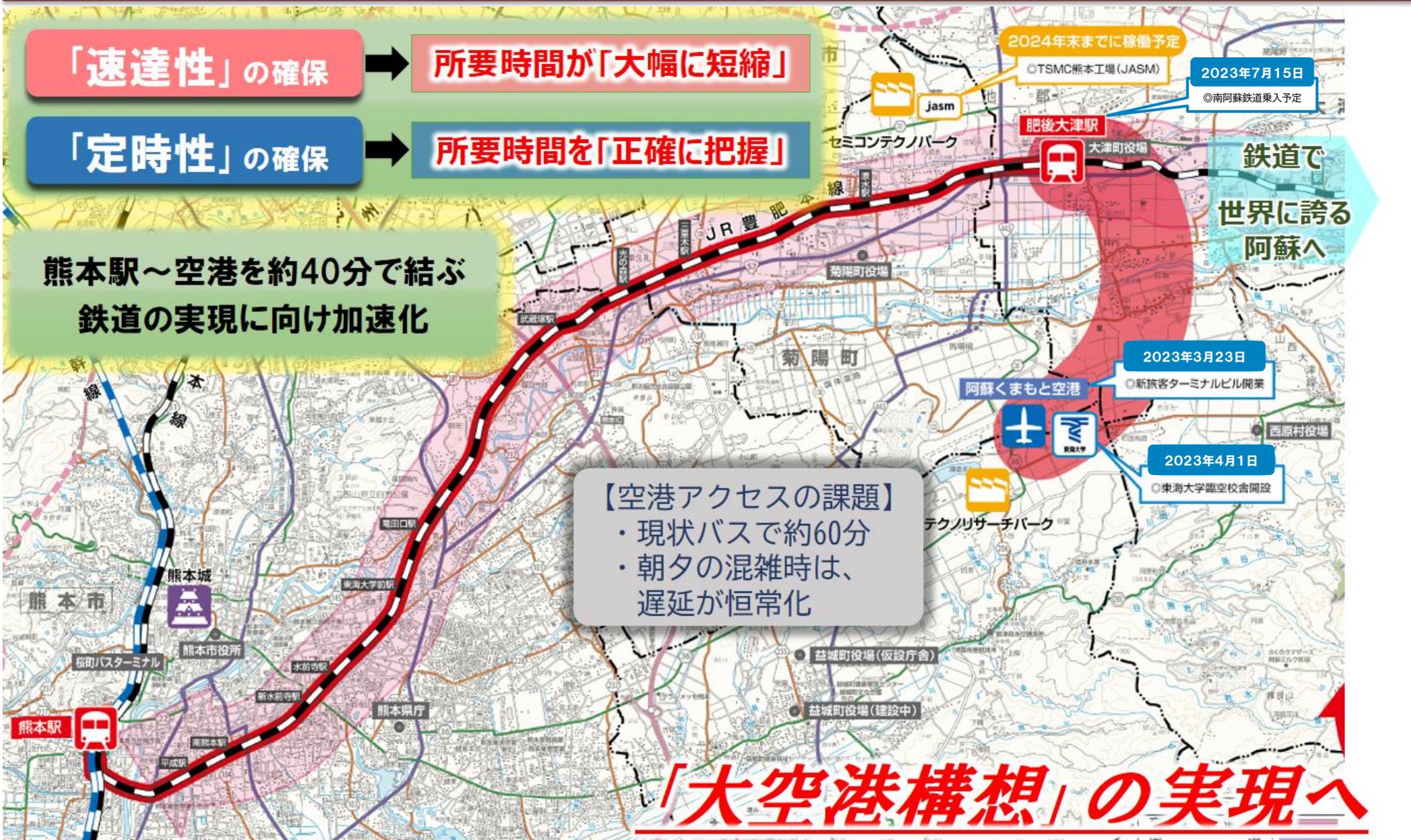
所要時間を「正確に把握」

熊本駅～空港を約40分で結ぶ
鉄道の実現に向け加速化

【空港アクセスの課題】

- ・ 現状バスで約60分
- ・ 朝夕の混雑時は、遅延が恒常化

「大空港構想」の実現へ



鉄道で
世界に誇る
阿蘇へ

9. 八代港のクルーズ拠点整備

国

- ①クルーズ専用岸壁
 (一部耐震強化岸壁)【延長410m】
- ・年間365日の受け入れが可能
 - ・世界最大22万t級のクルーズ船受け入れが可能

ロイヤルカリビアン社

- ②旅客ターミナル
 【延べ床面積 約3,600㎡】
- ・出入国時の手続き時間等が短縮
- ③くまモンパーク
- ・ビッグくまモン (6m)
 - ・日本庭園
 - ・くまモン合唱隊 (54体) など

熊本県

- ④駐車エリア【面積約4.4ha】
- ・大型バス 最大150台の駐車可
 - ・乗用車等 最大600台の駐車可

くまモンポート八代 (2020年3月完成)

★土・日・祝限定で開園 ()内は入園可能対象者

- ・令和2年10月31日～(八代市民) ・11月28日～(県民)
- ・令和3年10月23日～(全国)



10. 国際スポーツ大会の成功

2019女子ハンドボール世界選手権大会

2019年11月30日(土)～12月15日(日) 県内5会場

《参加国》 24カ国 計96試合

■ 大会結果(順位) 日本10位！



優勝 オランダ 写真提供:JHA

観戦者数 315,748人



準優勝 スペイン



3位 ロシア

■ 経済波及効果

2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
98.52億円 (91.58億円)	81.93億円 (76.35億円)	16.60億円 (15.23億円)

ラグビーワールドカップ2019™

熊本で2試合開催



フランス v トンガ
・2019年10月6日(日)
入場者数: 28,477人



ウェールズ v ウルグアイ
・2019年10月13日(日)
入場者数: 27,317人



■ 経済波及効果

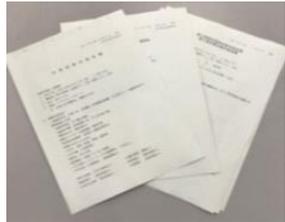
ラグビーワールドカップ2019日本大会熊本開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
106.76億円 (97.91億円)	89.65億円 (82.23億円)	17.12億円 (15.67億円)

熊本地震関連の資料を記録・整理・蓄積し後世に遺す

行政機関、大学、企業、 団体等の協力を得て収集

- 災害対策本部会議資料
- 被害、避難生活、復旧・復興などの写真
- 各団体がまとめた検証・記録など



専用のウェブサイトで公開

<https://www.kumamoto-archive.jp/>



ピックアップコンテンツ



スマートフォンにも
対応



利用

- 防災・減災対策
- 教育、研究
- アーカイブサイト内の資料を使用した啓発映像の制作など

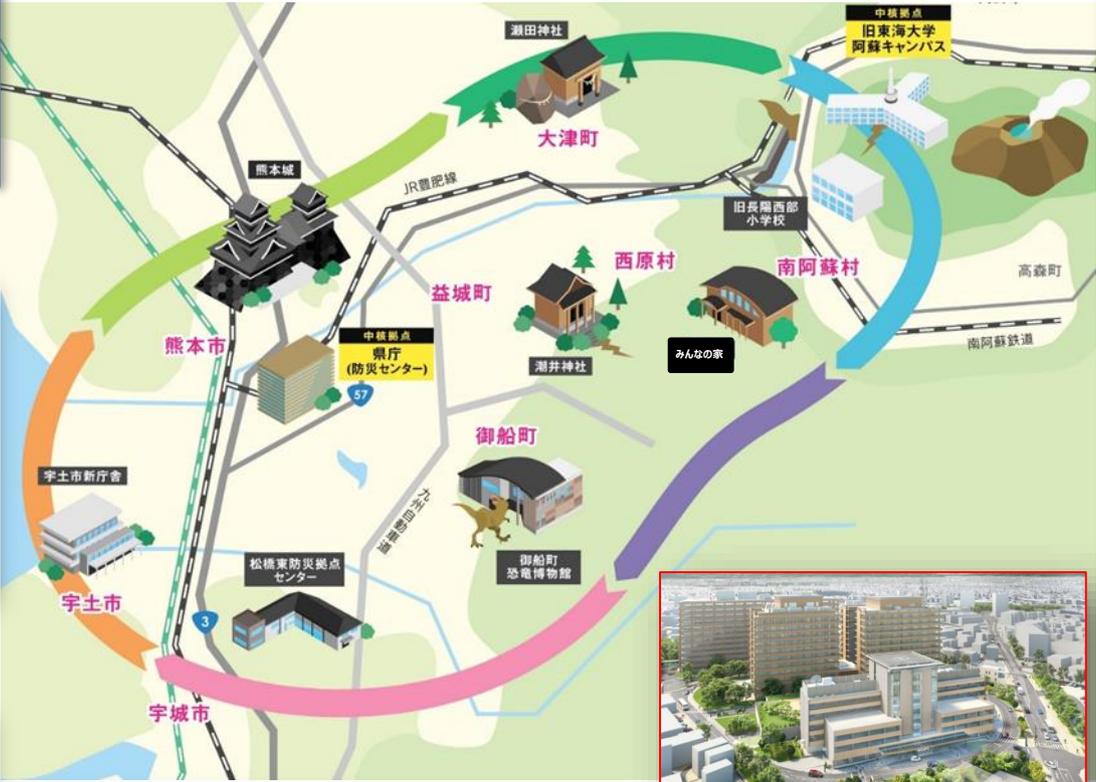


- ・令和5年3月末で約21万点の資料を掲載
- ・知事・市町村長インタビューや啓発映像なども掲載

【熊本地震震災ミュージアム 熊本地震 記憶の廻廊】17

県と市町村が連携し、震災遺構や情報を発信する拠点等を巡る回廊型のフィールドミュージアムを実現

回廊型の震災ミュージアムイメージ



熊本市：熊本城（拠点）



南阿蘇村：旧長陽西部小学校（拠点）



益城町：潮井神社（震災遺構）



大津町：瀬田神社と巨石（震災遺構）



宇土市：新庁舎（拠点）



県＜中核拠点－熊本市＞
 : 県防災センター 1階
 : 防災教育・展示施設
 (R5年5月オープン)



県＜中核拠点－南阿蘇村＞
 : 震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎
 及び地表地震断層）
 : 体験・展示施設（R5年7月オープン）



御船町：街なかギャラリー（拠点）

ONE PIECE熊本復興プロジェクト

～ 麦わらの一味「ヒノ国復興編」 像の設置場所～

